

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名：国道52号 上石田改良		事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 関東地方整備局
起終点：自：山梨県甲府市富竹一丁目 至：山梨県甲府市寿町		延長：1.0 km	
事業概要： 一般国道52号は、静岡県清水市と山梨県甲府市を結ぶ延長約100kmの主要幹線道路である。上石田改良は、甲府市内の一般国道52号の交通混雑の緩和、線形改良・歩道設置による安全性の向上を目的とした、甲府市富竹一丁目から甲府市寿町までの延長約1.0kmの道路拡幅事業である。			
H8年度事業化		S43年度都市計画決定	H16年度用地着手 H17年度工事着手
全体事業費：153億円		事業進捗率：25%	供用済延長：0 km
計画交通量：28,100台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 2.6	総費用：(残事業)/(事業全体) 99億円 / 132億円 (事業費：95 / 128億円 維持管理費：4 / 4億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 260億円 / 260億円 (走行時間短縮便益：238 / 238億円 走行費用減少便益：14 / 14億円 交通事故減少便益：7 / 7億円)
基準年：平成17年			
事業の効果等 ・4車線化と橋の架け替えによる交通円滑化 ・拡幅・線形改良と歩道設置による交通安全性の向上 ・道路整備に伴う沿道環境の改善			
関係する地方公共団体等の意見 山梨県及び地元の首長等で構成される期成同盟会等により、上石田改良の整備促進について、要望を受けている。(H12.5月から年H17.5月まで、2回/年程度要望書提出)			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 上石田改良区間周辺において、都市拠点整備事業や産業拠点開発事業など、多くの面的開発計画が存在し、今後も交通量の増加が想定される。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 優先整備区間(450m)について、用地買収・橋梁下部工事を推進している。残区間(550m)については、PIによる交差点形状等についての計画を推進している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 貢川河川改修計画における河川断面の変更による橋梁設計変更により事業が遅延している。今後も、用地買収・工事を推進し、平成20年度に優先整備区間(450m)、平成20年代半ばに残区間(550m)を供用する予定である。			
施設の構造や工法の変更等 荒川橋の架け替えにおいて、コスト縮減の観点から、仮橋の上部を本橋に横取り一括架設する工法を採用し、橋梁設計を変更した。			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。